

「エラー&グッドプラクティス・レポーティングシステム」 実施状況について

(エラー=E R、グッドプラクティス=G Pと標記)

1 集計結果

(集計期間：2月25日から7月7日まで) ※ひやりはっとは5月16日まで

	E R	G P	ひやりはっ	合計
泉寮	28件	37件	11件	76件
海寮	1件	22件	12件	35件
山寮	0件	5件	14件	19件
春寮	0件	11件	14件	25件
秋寮	1件	9件	65件	75件
空寮	0件	0件	2件	2件
星寮	2件	10件	6件	18件
その他	-	-	1件	1件
合計	32件	94件	125件	251件

2 確認できた事項

- 報告件数は寮ごとにばらつきがある。
- 記載方法が統一されておらず、時間や場所などが正確に分からない報告があった。
- 利用者別では、54名の報告があり、一人あたりE R/G Pが10件以上、ひやりはっが30件近くの報告があった。
- 利用者の不安定さや利用者間のトラブルに至る前の気づきを中心にエラー報告として、日常の支援の中で利用者の良い一面・新たな姿が垣間見えた場面をG Pとして報告が挙がっていた。
- 報告の中で、推察された利用者本人の思いや所感が書かれており、実際に本人と接する中で職員が感じ取ったことを記録に残しており、支援を振り返るうえで、有効な記録になっていた。
- 食事や服薬、健康管理などのいのち・健康に関するE R報告は少なく、本来、E Rとして報告すべきものが挙がっていない。

例) ・ 職員を叩く、掴みかかる等の行為により頓服薬を服用したことが、E Rとして報告されていない(その行動の背景を探り、頓服薬の服用の検証を行う等に至らないおそれがある)。
・ 頭部を怪我した利用者を発見した際、迅速な救急要請の対応ができなかった経緯があったが、E Rとして報告されていない(命を最優先に振り返り、迅速な救急搬送につなぐ改善に至らないおそれがある)。

3 P D C Aによる改善のサイクル

- 現状、P D C Aの“プラン”が定まっておらず、福祉施設におけるP D C Aや、“プラン”とは何か、改めて整理する必要がある。
 - 園運営については運営計画、利用者支援については個別支援計画があり、些細なことであっても気軽に報告・共有できる仕組みとして、レポートイングシステムを実施しているが、それらが機能するよう、例えばエラー定義、報告基準の見直し等を行う等を整理していく。
- ※ 園の記録システムを日常的に使う機会のない職員、家族や外部の関係機関等、あらゆる人が報告できる方法として、e-kanagawa 電子申請システムによる方法を8月1日から開始予定。